田尻地域の沿革 —歴史年表—

橙文字は田尻地域の出来事

時代	西暦	和暦	事項
縄文	約一〇、〇〇〇年前	縄文早期	恵比須田・通木寺下遺跡
	約六、〇〇〇年前	〃前期	恵比須田・長沢浦・舞岳南・泉谷崎畑・金鋳神遺跡
	約四、六〇〇年前	〃中期	恵比須田・長沢浦・北久保・金鋳神・木戸遺跡
	約四、〇〇〇年前	〃後期	上高野・恵比須田・中沢目・金鋳神・木戸遺跡
	約三、一〇〇年前	〃晩期	恵比須田・中沢目・北小塩・北小松・北久保・泉谷崎畑・金鋳神・木戸・お椀子山遺跡（遺跡により大洪水の痕跡あり）
弥生	前 四〇〇年頃	弥生前期	通木田中前・木戸遺跡
	前 一〇〇年頃	〃中期	通木城跡
	一五〇年頃	〃後期	北久保遺跡
	二三九		邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使者を遣わす。
古墳	四世紀頃	古墳前期	金鋳神遺跡
	七世紀頃	〃終末期	大沢・日向前横穴墓群
飛鳥	六〇四		憲法十七条が制定される。
	六四五	大化元	大化改新。
	六七三頃	天武二頃	加護山国家安楽寺建立（～六八六年頃）と伝わる。
	七〇一	大宝元	大宝律令が完成する。
奈良	七一〇	和銅三	平城京（奈良）に遷都。
	七一三	〃六	陸奥国に丹取郡を建てる。
	七二二	養老六	柵戸一、〇〇〇人を陸奥鎮所に配置。
	七二四	神亀元	陸奥国海道の蝦夷反乱。多賀城造営。木戸瓦窯跡。
	七三七	天平九	新田柵に判官大伴宿祢美濃麻呂が派遣される。 遠田君雄人が海道に派遣される。
	七四九	天平感宝元	陸奥国小田郡より黄金九〇〇両が献上される。
	七六七	神護景雲元	陸奥国伊治城が造営され、栗原郡が置かれる。
	七七〇	〃四	新田郡を含む一〇郡の俘囚三、九二〇人が、公民となることを願い出る。
	七七四	宝亀五	陸奥国海道の蝦夷が反乱し、桃生城に侵入する。（東北三八年戦争の始まり）
	七八〇	〃一一	賊が長岡に侵入し、百姓家を焼く。伊治公呰麻呂が反乱し、按察使紀広純等を殺害、多賀城を侵略放火する。
	七九〇	延暦九	遠田郡領遠田公押人、田夷の姓を改め遠田臣の姓を賜う。
平安	七九四	〃一三	平安京に遷都。
	七九九	〃一八	讃馬郡を新田郡に併合する。
	八〇一	〃二〇	坂上田村麻呂、胆沢・閇伊村の蝦夷を討つ。
	八一一	弘仁二	文室綿麻呂が爾薩体・幣伊村の蝦夷を討つ。（東北三八年戦争の終わり）
	八一二	〃三	陸奥国遠田郡人竹城公金弓等、田夷の姓を脱し、公民となる。
	八六九	貞観一一	大地震と津波が発生し、多賀城等が被害を受ける。
	八八九	寛平元	小松寺開山と伝わる。
	九一五	延喜一五	十和田火山が噴火し、多量の火山灰が東北地方に降る。
	一〇五一	永承六	前九年の役。（～一〇六二年）
	一〇八三	永保三	後三年の役。（～一〇八七年）
	一〇九六	嘉保三	藤原清衡（奥州藤原氏初代）が平泉に居を定める。
	一一八〇	治承四	源頼朝挙兵。
	一一八五	文治元	壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡。
	一一八九	〃五	源頼朝の奥州平定（奥州合戦）で、奥州藤原氏が滅亡。 藤原氏旧領地の遠田郡は、論功行賞により宇都宮氏の所領となる。
鎌倉	一一九二	建久三	源頼朝が征夷大将軍に任命される。
	一二一九	承久元	源氏滅亡。
	一二二一	〃三	承久の乱。
	一二八三	弘安六	北小松に弘安六年の碑建立。
	一二九七	永仁五	下館跡に永仁五年の碑建立。
	一三〇八	徳治三	沼部八幡神社に徳治三年の碑建立。
	一三三三	元弘三	建武の新政。北畠顕家が父親房と共に義良親王を報じて多賀国府に下向。
南北朝	一三三六	延元元	南北朝対立。
	一三三八	〃三	足利尊氏が征夷大将軍に任命される。
	一三五四	正平九	斯波家兼（大崎氏初代）が奥州管領に任命される。
	一三九二	元中九	南北朝合一する。
室町	一四〇〇	応永七	大崎（斯波）詮持が奥州探題に任命される。
	一四六七	応仁元	応仁・文明の乱（～一四七七年）
	一四八八	長享二	大崎領に内乱発生。大崎義兼が伊達氏の梁川城に亡命。
	一五四三	天文一二	ポルトガル人が種子島に来る。（鉄砲伝来）
	一五五五	弘治元	伊達晴宗が奥州探題となる。
	一五六七	永禄一〇	伊達政宗（一六世）、米沢に生まれる。
	一五七六	天正四	織田信長が安土城に入る。
安土桃山	一五八八	〃一六	伊達軍が大崎軍と戦い、中新田で大敗。
	一五九〇	〃一八	豊臣秀吉の天下統一。奥州仕置により大崎氏の領地が没収され大崎・葛西一揆が起きる。
	一五九一	〃一九	伊達政宗が米沢より岩手沢（現岩出山）へ移る。 亘理元宗が鶴城（百々城）に入る。
	一六〇〇	慶長五	関ヶ原の戦い。
江戸	一六〇三	〃八	徳川家康が征夷大将軍に任命される。
	一六二三	元和九	川村孫兵衛が北上川の改修工事を行う。
	一六四六	正保三	佐賀房供が貝の堀沼の開拓を行う。（完成一六七二年）
	一六五三	承応二	祇劫寺開山。（本堂は県指定文化財）
	一七一六	享保元	享保の改革。
	一七五七	宝暦七	田尻村大火。
	一七七二	安永元	「封内風土記」完成。
	一七八一	〃九	「風土記御用書出」完成。
	一七八三	天明三	天明の大飢饉。
	一七八六	〃六	田尻村大火。
	一七八七	〃七	松平定信が老中となる。（寛政の改革）
	一八一五	文化一二	齋藤竹堂生まれる。（一八五二年没）
	一八三三	天保四	天保の大飢饉。
	一八三八	〃九	小川鳴崖生まれる。（一九〇六年没）
	一八四一	〃一二	大嶺村佐々木藤九郎が大肝入となる。天保の改革。
	一八五三	〃六	ペリーが浦賀に来航。
	一八六五	元治二	田尻村新町大火。
	一八六六	慶応二	田尻村大火。
	一八六七	〃三	大政奉還。
明治	一八六八	明治元	戊辰戦争。五箇条の御誓文。
	一八七三	〃六	八幡・田尻・三高野・小塩・大貫に小学校開校。
	一八八九	〃二二	町村制施行にともない、田尻村・沼部村・大貫村成立。
	一八九六	〃二九	田尻村大火。
	一九〇二	〃三五	田尻村単独で町制を施行。
	一九〇八	〃四一	東北本線の田尻停車場（現田尻駅）開業。
大正	一九一四	大正三	第一次世界大戦が始まる。（～一九一八年）
	一九二三	〃一二	関東大震災。
昭和	一九三九	昭和一四	第二次世界大戦が始まる。（～一九四五年）
	一九四五	〃二〇	太平洋戦争が終わる。（一九四一年～）
	一九五四	〃二九	田尻町・沼部村・大貫村が合併して田尻町成立。
	一九五八	〃三三	田尻町庁舎（円形庁舎）落成。
	一九六二	〃三七	宮城県北部地震発生。
	一九七八	〃五三	宮城県沖地震発生。
	一九八五	〃六〇	在京「田尻会」設立。
平成	一九九一	平成三	大阪府泉南郡田尻町と友好都市提携。
	二〇〇五	〃一七	「蕪栗沼・周辺水田」ラムサール条約湿地に登録。
	二〇〇六	〃一八	一市六町（古川市・松山町・三本木町・鹿島台町・岩出山町・鳴子町・田尻町）が合併して大崎市が成立。
	二〇一一	〃二三	東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）発生。
	二〇一七	〃二九	大崎地域一市四町（大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町）が「世界農業遺産」に認定。
令和	二〇一九	令和元	大崎市田尻総合支所新庁舎完成。
	二〇二〇	〃二	〃 共用開始。